

第一回学区審議会 記録

日 昭和58年7月6日
時 午前10時～12時
場所 市役所庁舎 705会議室(7階)

出席者 < 審議委員 >

高津、海宝、長嶋、中原、石井、太田、佐藤、真田、
中林、鷹木、貝原

< 臨時委員 >

門田、中島、高橋

< 事務局職員 >

教育長、中村管理部長、足木学校教育部長、原田施設課長
大沢管理部長、三浦財務課長、岩波秘書室長、鈴木学務課長
富沢指導課長、田久保保健体育課長、内藤学務課長補佐、
中村秘書室主査、中島保健体育課主査、中村学務課庶務係長
岡田学務課副主査、久保学務課主任主事

< 委嘱状交付 > 教育長

真田、高津、海宝、佐藤... 各審議委員、臨時委員全員

< 教育長挨拶 >

只今、学区審議会委員の方々と、臨時委員の方々に委嘱辞令をお渡ししました。引き続きお願ひする方又新たにお願いの方おられますが、審議委員の方にはスカーに渡りお願いし、臨時委員の方には1年間お願ひする訳であり、たいへん重要な任務であります。臨時委員の方には、これから諮問しますが、仮称法典と小学校の学区設定について、地域の代表として御推薦していただき臨時委員としてのお仕事をいただくことになりました。ぜひよろしくお願ひいたします。それに伴い、各々の委員の方に、^{お願い}お願いとございまして、こういう学区設定という点につきましても審議をしていただくことになりました。12月の教育委員会に答申をいたします。期限が迫っておりますが、その間現地視察もしていただき、学区設定のところから、いろんな要望も出てくると思います。事務局として

その間、理地において説明会を開く、懇談会などもありますそして最終的に6~
審議会を経て今年も併ぬい、在りへん慎重を要する問題であります、後者の学
審議会の決定を以てからはいずれも順調に新しい学校が展開されているとい
状況であります、それだけに仕事としては在りへんでございすが、結果としては在り
な歩みでいたしておりますので、今回も委員の各位、御努力を以てい、結果を得られる
願いといたす次第であります、どうぞよろしくお願い申し上げます。

< 学己審議会委員、同臨時委員、事務局職員の紹介 >

学務課内藤補佐

< 審議委員会の会長、副会長の選出 >

長嶋前会長の発言

例年会長、副会長は審議委員の中で互選ということになっておりますが、私今回も
やらせていたりたいのですが、少し健康を害しておりますので、今年も中原先生にお願い
したいと思っております、副会長には海宗先生に御推薦していただきたいと思います。(賛成多数の
御)

< 会長挨拶 >

一言、御挨拶申し上げます、私何期か審議委員をやらせていただきましたが、その間おと
長嶋先生に会長をお願いしていたように記憶があります、先生のお体の調子が悪いというこ
で、何かうまくはぬれたような感じがあります、経験もありません、困惑はありますが、
皆様の協力、御理解を以て、勤めさせていただきますと思っております、どうかよろしくお願い申
上げます

教育長 諮問書を読み上げ会長に手渡す

(教育長から) 小学校、学己設定の概要説明 > 岡田学務課副主査

< 船橋市学己審議会条例及び学己設定の基本的態度の説明 > 鈴木学務課長

< 昭和59年開校予定校の概要説明会 >

設置理由、建設計画 —— 原田施設課長

学己案(通学区) —— 岡田学務課副主査

通学路 —— 中島保健体育課主査

審議日程 —— 岡田学務課副主査

<会長> 只今 学已説明で何かおからないことがありましたら お願いいたします

<監査 内田>

県道の他にも、市道がほとんどあるが、これ 道幅が狭い
その上、下水道設備がない。河川に流れている。また旧道の通学路として安全
に不安がある。道路規制について どのようにお考えですか

<会長>

詳細については、学已懇話会において考え、話し合いたい
と思います

<中島 祐彦>

市道 2002号線 の道路指定をやり、幅員を 5M45cmに境界以
外に2M歩道をつけ整備す。市県道に出る箇所には、信号
機を設置す。58年度に用地買収(道路)を行い、59年度に歩道を
整備する。しかしながらなるべく早期に実現できるように努力します
市道 903号線 については歩車道区分が明で整備を考慮す

<会長> 学已について他にございませんか

<内田> (地図をさして) この部分も幅員が狭いから困るのですが...

<中島> 承っております

<高津> 小作町の一部分が学已界に入っているのは何か理由があるのですか。
事情を説明してほしいのですか。

<鈴木 学務課長> 武蔵野線の軌道、の内側で線形が1.5kmのときは
用地は宅地化されている。か、将来住宅が建ち人口が増えれば
通学距離として適切であるという事で、編入は、古からの町会
があるとして、これは十分考慮して行ければならないか、住宅地化
されているので問題はないと承ります

<高橋 氏> 現在、上川町、新原町、白目から学已外へ通学する
法費は2校へ 95名あるという事ですが、葛上へ 117名(4年)
他は2校へは 何名 ?

<岡田副市長> 過去において市川の若宮中学校へかたが通学していたと聞いたことがあつた。

<学務課鈴木課長> 40年以降において、藤原町におろの通学を認めたという事は、その後は、葛小、法典小へ通っているのが現状であつた。

<竹田氏> 新しい学校が地域に与えるメリットはどの様なものがあるのか？
たとえば下水道設備とか……

<原田施設課長> 通学路も含めて、道路整備は進められると思うが要望として100%というわけにはいかないので、緊急を要するもの、住民の要望が強いものから、用地買収の可能性を進めていく。ガス水道排水管の埋設された道路に隣接している住民の方には利用できると思いますが、災害時の避難場所、校庭、体育館などできる所を利用できるように社会開放をする。

<岡田副市長> 懇話会と今後の審議会の日程などをお知らせを説明——
次回への予定、現地視察

<市長> 次回の審議会の確認、他に御意見がなければそれでいいので、これ
終りにいたします。本日はご理解の司会でしたか、御苦労様でした。